

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

|               |   |     |             |         |
|---------------|---|-----|-------------|---------|
| 科目名(英)        | 卒業研究(Graduation Thesis)                     |     | 授業コード       | C109918 |
| 担当教員名         | 池畑 義人                                       |     | 科目ナンバリングコード |         |
| 配当学年          | 4   | 開講期 | 前期          |         |
| 必修・選択区分       | 建築コース 必修<br>住居・インテリアコース 必修<br>環境・地域創生コース 必修 | 単位数 | 6           |         |
| 履修上の注意または履修条件 |   |     |             |         |
| 受講心得          |   |     |             |         |
| 教科書           |   |     |             |         |
| 参考文献及び指定図書    |   |     |             |         |
| 関連科目          | 全専門科目                                       |     |             |         |

|       |   |
|-------|---|
| 授業の目的 | 卒業研究着手条件を満足した4年生は、研究室を決定した後、卒業研究に着手します。本科目では、各研究室の卒業研究生となった学生各人が、大学専門教育の総仕上げとして専門分野における研究テーマに挑戦し、1年間かけて取り組んだ成果を卒業論文としてまとめ、提出します。研究テーマは、選択した各専門分野において、技術上の問題の解明、予測、対策及び新しい方法の提案・開発等です。卒業研究では、各自の研究テーマに対して問題点を発見する力、実験・調査・分析などの手法、論文のとりまとめ方、プレゼンテーション能力を身につけ、卒業後、社会人あるいは大学院生として活躍できるようになることを目標とします。 |
| 授業の概要 |   |

|  |                                   |                 |
|--|-----------------------------------|-----------------|
| <b>○授業計画</b>   |                                   |                 |
| 学修内容   | 学修課題(予習・復習)                       |                 |
| 本科目の授業は、選択した研究室の担当教員の指導のもとで行われます。研究の内容は、実験、実習、調査、計画、計算及び設計と多岐にわたります。研究テーマは担当教員の指導により決定されます。また、研究の進め方は研究テーマの内容により個人研究またはグループ研究として行われます。卒業研究生は、与えられた研究テーマに関して、担当教員の指導のもとに研究の実施計画を立てて実行しては検討を繰り返し、1年間かけて目標とした研究成果の達成に努めます。最終的には研究成果を論文にまとめて担当教員に提出し、審査を受けます。審査は口頭発表及び試問等により行われます。 |                                   |                 |
| 授業の運営方法  | (1)授業の形式                          | 「演習等形式」         |
|  | (2)複数担当の場合の方式                     |                 |
|  | (3)アクティブ・ラーニング                    | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 地域志向科目   | カテゴリー III:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 |                 |
| 備考   |                                   |                 |

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| <b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b> |   |
| 【関心・意欲・態度】                  | 地域における環境の素晴らしさと問題について認識を持ち、その解決のための活動に真摯な態度で取り組むことができる。 |
| 【知識・理解】                     | 地域における環境の問題解決に必要な知識について学修する。                            |

|                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 課題とその解決方法について他者にわかりやすく伝えることができる。 |
| 【思考・判断・創造】        | 地域の人々の気持ちを理解して、合意形成を図るための判断ができる。 |

| ○成績評価基準(合計100点)  |                 |               | 合計欄          | 100点 |
|--|-----------------|---------------|--------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点  | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) |      |
| 【関心・意欲・態度】<br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。  |                 | 10点           | 20点          |      |
| 【知識・理解】<br>※「専門能力(知識の獲得)」を含む。  |                 | 10点           | 20点          |      |
| 【技能・表現・コミュニケーション】<br>※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。  |                 | 10点           | 20点          |      |
| 【思考・判断・創造】<br>※「考え抜く力」を含む。   |                 |               | 10点          |      |
| <p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p> |                 |               |              |      |

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 成績評価方法                             | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等(提出物)                      |                 |
| 発表・その他(無形成果)                       |                 |